インターンシップ

目的：京都大学工学部物理工学科機械システム学コースではインターンシップを工学教育のひとつとしてカリキュラムに組み入れています（後期配当，選択2単位，（註1））。日本の工業を支える企業の工場・研究所などの現場で，工業製品の生産，新製品の開発・設計・基礎研究などの実務を体験し，“ものづくり”におけるチームワークや生産プロセスなどを具体的に学修することによって，“ものづくり”における人間と機械と組織のあり方を学び，学生諸君の大学での学習の動機付けや将来の進路決定を支援することを狙いとしています。おもに3回生の夏休みの実施を推奨していますが，2，3回生の春休み，4回生の夏休みでの実施も可能です。※2回生夏休みの実施は原則として認定しません。

対象企業：機械系や工学研究科の事務室に募集要項を送ってきている企業や IAESTE などによる海外企業での研究も対象とします。また，以下のページにも掲載されている企業も対象としますので，各自で確認してください。

- ・大学を通じて参加する場合

KULASIS（全学生向け共通掲示板⇒インターンシップ情報一覧）

- ・個人応募で参加する場合

キャリアサポートセンター：<https://www.career.gakusei.kyoto-u.ac.jp/>

注：現場の実態を知るのが目的であるので，企業によるリクルートのための説明会，見学会，インターンと称しているが工場などの現場でない会場に学生を集めてグループワークなどの研修をするもの，期間が短い場合，は単位認定できません。心配な場合は，事前に担当教員に相談して下さい。

期間：夏休み，または春休みなど授業期間外の2週間以上を原則とします。

注：2週間以上とは，実質2週間分の平日のことで，実質のインターン日数が10日（祝日が入る場合はその日数を引いても可）でも単位認定されます。

単位認定（2単位）：事前の計画書および事後の報告書の提出，および報告会への出席と報告による（註3，註4）。

費用：交通費，宿舎，賃金などの支給条件は各企業によって異なります。

障害保険：学生教育研究災害障害保険に加入して下さい。（註5）。

注意事項：安易な気持ちで申し込まないこと。京都大学の機械工学系の学生としての自覚と責任を持って行動して下さい。

担当教員：土屋，長田

担当事務：物理工学科事務室

註1 後期配当科目なので，履修登録は後期になってから行うこと。4回生最後の春休みでの実施はできません。

註2 4回生で実施を希望する場合は，研究室の指導教員に必ず相談して下さい。

註3 計画書，報告書の書式は <http://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/oncampus/kyomu> にあります。

過年度の報告書は物理工学科事務室およびCクラスタ教務掛にて閲覧できます。

報告書には本人が記述する分と企業担当者に記述いただく分があります。企業担当者への報告書作成依頼も本人が行って下さい。報告書の公表についてインターンシップ先の承認を得て下さい。

註5 多くの学生は入学時に加入済みの管です。加入しているかどうかは，KULASISのマイページから確認することができます。詳細は学生部厚生課に問い合わせして下さい。